

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

平成 30 年 6 月 13 日(水)午後 3 時 26 分～午後 3 時 40 分(9 階 904 会議室)

○出席委員(9名)

委 員 長	石原洋三郎	副委員長	誉田 憲孝
委 員	佐々木 優	委 員	後藤 善次
委 員	斎藤 正臣	委 員	黒沢 仁
委 員	佐久間行夫	委 員	山岸 清
委 員	渡辺 敏彦		

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

- (1) 所管事務調査について
- (2) その他

午後 3 時 26 分 再 開

(石原洋三郎委員長) ただいまから経済民生常任委員会を再開いたします。

次に、所管事務調査について協議してまいりたいと思います。

まずは、資料を配付いたします。

【資料配付】

(石原洋三郎委員長) 議題は、お手元に配付の印刷物のとおりであります。

所管事務調査についてを議題といたします。

前回の委員会で皆様より次の所管事務調査に関するテーマを用紙に記載の上、提出いただきましたが、今ほど資料としてそのときの写しを全員分配付させていただきました。とりあえず本日は、こちらの資料をもとに各委員の皆様のテーマについて改めてご説明いただき、また記載のほかにも別の案があれば、それも含めてご意見を頂戴できればと考えております。

それでは、早速ですが、資料に基づき、ご説明をお願いできればと思います。説明の順番は、用紙のと通りの順で、一番最初は渡辺委員からということで。

（渡辺敏彦委員）記載のとおりでありまして、6次化の農業だったから、余り考えないでいいかな。詳しくは、正副委員長に一任すると。

（黒沢 仁委員）今回の定例会議で、一般質問だか代表質問だかわからないような質問の中でこのテーマをちょっと出させていただいたという部分もあるし、今公共施設等総合管理計画という部分とこの機能の集約化とか何かといった部分で当然民間事業者との連携とか、あとその中心市街地から若者にとっての魅力を発信できるまちづくりというような、そういった観点からぜひ調査項目にしたらいいかというようなことで、調査の手法等につきましては正副一任ということでお願いします。

（後藤善次委員）調査テーマ名としては、駅前商店街の活性化というところがテーマです、経民としては。ただ、公共施設の今議会でもいろいろ意見が出ておりましたけれども、単独で運営していく状況ではない部分もあるのかなと。その意味から、経済民生から建設あるいは経済民生から都市政策であるとか、こういうものも考えながらまちづくりをしていってもらいたいというような提言ができるような、そういう意味での今回のテーマではいかがかなと、そういう内容でございます。

以上です。

（山岸 清委員）大体同じ。これ見てみると大体分けられるの。フィルムロケとかエネルギーとか、佐久間さんと優ちゃん一緒に。だから、俺は皆さんの意見に合わせますから。

（佐久間行夫委員）福島県は脱原発をうたって、福島県が2040年までにエネルギー自給率100%にしようとしているのだけれども、実際にはなかなか進んでいない。原発の廃炉のほうもなかなか進まないというような現状の中で全国を見ると、電力の自給率が100%を超える市町村が100カ所以上あるのだ。そういう意味で福島はおくれているなというのと、ただ何でもよく再生エネルギー、自然エネルギーを利用するのがいいということではなくて、ある程度景観とか、環境とか、いろんなのに考慮した開発なり、地産地消でエネルギーの電力のところを目指すとかということも含めてやはりこれは真剣になって考えないと、いつまでたっても自給率が100%にはいかないだろうということで、実にいいテーマかなと、自分で。

（佐々木優委員）私も佐久間さんと大体似ているのですけれども、本当に全国各地の自治体で電力の地産地消というのが取り組まれていて、エネルギーの自給自足をすることによって地域経済にも大きくプラスになるということがもう実証されているところがたくさんあるわけです。福島市も本当に財政が厳しい、財政が厳しいと言っているわけですから、自分のところで財源を埋める取り組みにもつながっていくと思うのです。なので、メガソーラーとかではなくて、やっぱり市民電力的な分野でやっていくべきだというふうに思っています。

【何事か呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員）私は、コンベンション及びフィルムロケ誘致というものが今必要だと思っていて、古関裕而さん、朝ドラになれるように今取り組みをしていますけれども、では実際決まったらどうするのですかという話、受け入れ体制ってあるのですか。例えばロケ班がここに行きたいのですと言っ

たときに宿泊施設や飲食をするところ、あとボランティアの人なんか、こういったのをワンストップで取りまとめるところってあるのですかという、今福島市においてはいいのです。コンベンション協会でもこれぐらいの対応はまだしていない。結局その部分で受け入れ体制の充実というものをしなければいけないですし、あともう一つやっぱり福島に足りないのはコンベンションビューローといって、市外に出て行って、こういったいいものがあるので、ぜひここ来てくださいという、要はセールスをする人というのですか、そういった外に出ていろいろなものをかち取っていくという取り組みというのがよその自治体に比べて、職員もいないということもあるのですけれども、ほとんどゼロに近い。この部分ではっきり言って山形、仙台に多くのものを持っていかれたように、会議もそう、フィルムロケもそう、多くのものを持っていかれていて、以前その観光コンベンション協会ですういった対外的にアンケートをとったのです。どういったところにフィルムロケに行くのですか、ドラマとか映画とか。やっぱり受け入れ体制がしっかりしているところという回答がはっきりと出ている。その中でその部分をおろそかにしていた部分があるので、やっぱりそこをここで調査をしてしっかりと補完するお手伝いをしたいなと思っています。

以上です。

（菅田憲孝副委員長）スポーツホームタウン推進事業を通した本市のにぎわい創出ということで、間もなく2020オリンピックも近づいてきていて、こういった、野球ですけれども、ソフトですけれども、そういうスポーツに対する機運が高まっているその一つとして、また十六沼のサッカー場の整備ですか、こういったものもあってタイムリーかなというふうに思っております。それで、福島にはユナイテッドFCというのがありますが、観客の動員数とかもなかなかうまくいかなかったり、あとは福島市民との交流だとか、そういった部分、あとは県外から来た人との交流、ほかもなかなかうまくいってなくて、福島市あるいは市民の皆さんというのはホームタウン活動というものの理解とか、その意識がまだまだ低いのかなという部分があります。ですから、オリンピックでの合宿地の誘致なども言っていましたけれども、これからはスポーツホームタウンということでそういう合宿の誘致ですとか観戦客、そういったものを誘致するですとか、そういったところから交流人口の拡大につながってまちづくりにつながって、にぎわいの創出につながっていくのかなと。ちょっと言い方によっては物すごくスケールの大きな話になってくると思うのですけれども、そういった身近なところからできる内容というのも物すごくあるのかなと思ひまして、本市への波及効果とかも狙ってのこのテーマを提案させていただきたいと思ひます。

以上です。

（石原洋三郎委員長）最後に私なのですが、私も交流人口の拡大とか、あとインバウンド政策あるいはフィルムロケ誘致支援ということで書かせていただきましたが、これから特に福島市が取り組んでいる中において一番後発なところがあるのではないかなと。特にまだビジョンも見えていないような段階でありますので、受け入れ体制であったり、あるいはオリンピックも来るわけなのですけれども、

まだまだそういう環境整備等々あるのではないかなと思っておりまして、特にまだ未知数的な、何も定まっていないようなところなので、テーマに掲げさせていただいた次第であります。と同時にこの掲げたテーマでやっていけば福島市のこういったよさがあるのかとか、あるいは新たな視点で観光振興を図っていくものは何なのかということを探っていくことができるのではないかなと思った次第であります。

調査の手法については、記載のとおりであります。

それでは、各委員から説明していただいたので、各委員から挙手をしていただいた上で……。

【「決とるの」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）いえいえ、皆さんの説明を聞いた上でご意見をいただければと思います。

（山岸 清委員）正副委員長一任。それぞれのいい点をとった上で、大学と駅前と、そしてそれを……。

【何事か呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）先ほど来正副一任ということでお話しいただいているのですけれども、正副一任ということで。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）それでは、議論が出尽くしたということでよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）それでは、本日いただいた皆様のご意見や前回参考資料として配付した正副委員長の案を参考にしながら正副委員長手元で整理し、次回以降の委員会で正副委員長のテーマの案としてご提示するというでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）ご異議ございませんので、そのように進めてまいりたいと思います。

なお、次回の委員会は6月28日の午後に協議会を予定しておりますことから、協議会終了後の時間をいただいて所管事務調査についても議論する形としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）当日は1時半から環境部の協議会ということで、7月にも所管事務調査に関する委員会を、今、後藤委員からもお話ありましたが、2日間ほど開催したいと考えておりますので、早ければそちらの日程も一応確保だけしたいと思っていらしたのですけれども。もしあれだったら、あしたにでも調整できればと思います。

【何事か呼ぶ者あり】

（石原洋三郎委員長）あと、所管事務調査の経済民生常任委員会は終了としたいのですけれども、次回の議会だよりで取り扱う議案審査の案件は……。

【何事か呼ぶ者あり】

(石原洋三郎委員長) それではこちらについても、またあした皆様とご相談できればと思います。

14日木曜日は、午前10時より委員会を開会いたしますので、よろしくお願いします。

(山岸 清委員) あしただね。

(石原洋三郎委員長) あしたです。

以上で終わりますので、お疲れさまでございました。

午後 3 時40分 散 会

経済民生常任委員長 石原 洋三郎